北九州市民の会ニュース

門司港地区複合公共施設事業 出前講演開催

浸水災害の恐れのあるところへ門司区役所の移転はやめよ

問題点がさらに浮き彫りになった出前講演

平和とくらしを守る門司区民の会は７月 23 日、門司港地区複合公共施設事業について、北九州市建築都市局の担当課長を招いて出前講演を行い 41 名が参加しました。

この計画は、門司港地区にある門司区役所、港湾空港局庁舎、図書館、市民会館、生涯学習センター、青少年プラザの公共施設を一箇所に集約するものです。

門司区民の会は、2019 年 10 月に、この事業の基本計画の時点でも出前講演をおこない、住民の声をいかした施設にして欲しと要望していました。今回は２度目で、2021 年３月に基本設計が公表され、その年に基本設計内容を検証するとして他の設計会社に委託し、2022 年３月にその検証結果を公表しました。こうした基本設計を２社の設計会社に委託契約で行うやり方はこれまでなかったことです。

第１部では、市の説明と質疑を行い、参加者から多くの意見が出され、複数の方から「建設予定の複合施設の地域は最大３ｍ～５ｍの高潮浸水区域内であり、災害対策の拠点施設の門司区役所を建設するのは見直すべきだ」の質問があり、市は「区役所を２階以上に設置する、法律等で設置してはいけないとはなっていない、対策をとる」との答弁を繰り返しました。

第２部では、参加者による意見交換会をおこないました。市の答弁に対する怒りや、計画の見直しをさせる取り組みについて発言があり、門司区市議会議員対策、災害の恐れのある地域への移転反対署名、市民の要求に沿った署名などの意見が出されました。門司区民の会は、出された意見を検討し、市民のための公共施設をめざしていくためにがんばることを述べて結びとしました。

平和ネット１９日行動

目立つ、横断幕「安倍元首相の神格化　国葬に反対」

JR小倉駅前に設置された横断幕

７月 19 日、いつもより参加者は少なめながら、今日の「平和をあきらめない北九州ネット」の情宣、やり切りました。何しろ直前まで線状降水帯さんが猛威を振るってたわけで、残る風の具合が気がかりだったが、安倍の「国葬」に反対する縦断幕も無事、立てられた。文句言って来る奴も …特になし。１人、若一い人が「これ、どういう意味なんですか」と聞いてきて、こちらの説明をふんふんと聞いてくれた。

リレートークに立った皆さんも、あまり安倍の死や 「国葬」については触れなかったので、マイクが最後に回って来た際にも、今のロシアと戦前日本の共通点とか、「日本はまだ、執行猶予中なんだぞ」、といういつものヤツを、しゃべりました。国葬問題は最後にちょいと、「安倍の死の政治利用である」と。

まあ多分、これからもこの縦断幕の出番はあるだろう。頑張ってもらいましょう。

（三浦哲史さん FB より）

本番を１カ月後に控えた戦争展実行委員会での議論

「平和のための戦争展」第４回実行委員会開催
コロナ対応、パネル展示内容等を協議

７月 25 日（月）、「2022 平和のための戦争展 in 北九州」が第４回実行委員会を開きました。主に協議したことは、新型コロナ対応やパンフレットについて、パネル展示の確認をし、当日体制もきめ細かく点検しました。予算案も検討しました。

次回実行委員会の日程は以下の通り。

●第５回実行委員会
８月 10 日（水）18：00　生涯学習総合センター

●第６回実行委員会
８月 17 日（水）18：00　生涯学習総合センター

今後の相談会予定
「コロナ電話相談会」（無料）

日時：８月 27 日㈯
10 時～ 20 時
TEL 0120-157-930（フリーダイヤル）

北九社保協通信

報告・資料集　2022 年７月号
７月 28 日　事務局発行

生活保護 110 番を実施。
物価高の影響や医療費の相談が・・

７月 19 日（火）に２ヶ月に１度の定例開催である「生活保護 110 番」を実施しました。この日はNHKが取材の予定でしたが、前夜の線状降水帯による大雨で北九州も各地で影響をうけ現場取材が優先となり残念ながらこちらはキャンセルとなりました。その影響もあって当日は、地域に配布しているチラシを見ての相談４件にとどまりました。それでも物価高騰を受けての切実な相談がありました。一例を紹介すると「70 歳。男性。単身者。低い年金額で生活扶助基準額にも満たないため、不足分約1万円を生活保護費として受給しているがそれでも年金と合わせ1ヶ月の生活費は約８万２千円程度。食料品も値上がりし、電気代もかかるので節約している。何とかならないか？」といった切実な相談が寄せられました。この間、引き下げられてきた生活保護基準額では物価高になると生活が成り行かなくなることは明白です。普通に生活が出来ることを求めて今、闘っている生活保護基準引下げ違憲訴訟での勝利が本当に重要になってくると思います。また、70 歳の女性からは「夫が現在、入院中。今度、転院となる。今の入院費は何とか支払ったが今後、転院先の治療費が心配。」また、精神疾患の息子を持つ 80 代の父親から「現在、精神科に通院しているが窓口負担金が高くて困っている。無低について知りたい」との相談。無低を扱っている精神科は残念ながら北九州にはないため、自立支援医療制度の紹介と申請をアドバイス。後日、感謝の電話がありました。

直接相談に来られた方の話を聞く　高木会長と毎月MSW

平和への祈りを込めて・・・平和行進に参加。

７月 20 日（水）小倉民商から勝山公園までの平和行進に参加して来ました。現在、コロナ第７波の爆発的感染と熱中症予防の観点から各地で規模を縮小しながらの行進となっており当日、このコースは小倉南区下曽根駅からの予定でしたが北区までは車での宣伝となり行進は小倉民商からスタートとなりました。参加者も 20 名程度で若干、寂しい感じはありましたが横断幕を先頭にアピールをしながら、勝山公園中央広場を目指しました。途中、沿道から「お疲れ様、頑張って！」との声援と拍手もいただき最後まで元気に行進することが出来ました。到着後、公園中央広場長崎の鐘の前で平和集会を行いました。実行委員会および参加された高瀬県議より挨拶をうけ最後にマンドリンの伴奏に合せ、平和の歌を参加者全員で合唱し散会となりました。今こそ、平和の大切さを実感する時はありません。改憲を許さず、平和憲法を守り抜く決意を新たにした平和行進でした。

万全のコロナ対策と熱中症予防で元気に行進する参加者

＝『重度障害者を排除する構造』＝
健常者は"なぜ"私ではなく介助者に声かけするの？

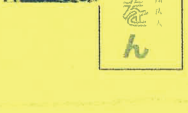
Endless Moment ・・・
「女は度胸！」講演者 IWAOKA MISAKI

2022年度
「北九州市人権の約束ごと事業」の一環として

から人権を考える！

地域社会

POINT



大学　卒業
大学院　入学

■第10回
北九州人権問題公開講座
●9月4日（日）PM1:30～4: 00
●小倉南生涯学習センター　4階　大ホール
（小倉南区若園、南区役所横）
●参加数：300名
（コロナ感染防止の安全対策のため空席確保）
★参加資料代：500円
主催：北九州人権問題公開講座実行委員会
実行委員長・三輪俊和北九州市立大名誉教授

平和とくらしを守る北九州市民の会
〒803-0817　小倉北区田町13-21　田町ビル３F
TEL 093-592-5000　fax 093-571-4346
http://siminnokai.sakura.ne.jp
e-mail:koe@siminnokai.com